

平成27年度 指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

平成27年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	ひまわり荘
	所在地	兵庫県川西市湯山台2丁目46番
	設置目的	在宅の身体障害者等を通所させて、創作的活動、機能訓練、介護方法の指導、入浴サービス、緊急一時保護事業等を行うことを業務とする。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)在宅の身体障害者等を通所させて、創作的活動、機能訓練、介護方法の指導、入浴サービス、緊急一時保護事業等を行うこと。</p> <p>(2)施設の利用の承諾、その取り消し、その他福祉センターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び免除に関すること。</p> <p>(4)施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。</p> <p>(6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	ひまわり荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	平成27年度より湯山台に移転して事業を行いました。障害者自立支援法の生活介護施設として、重度の障がいをもった利用者の日常の場として、入浴支援、排泄支援、食事介助を中心にサービス提供しました。創作的活動にも力を入れいくつかの作品が作品展等で入選しました。機能訓練は専門職員が配置出来ていないため未実施です。	A	法令に基づき、適切な人員配置を行い支援を実施した。	意見なし			
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	利用に際しては、原則、体験利用をしていただき、本人同意の上で、本人又は保護者等と利用契約を締結します。その際、重要事項の説明と個人情報取扱の了承を得ています。	A	体験利用を実施し、サービス内容について理解を得たうえで利用契約を締結するなど、適正に実施している。	意見なし			
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	入浴支援では、入浴人数を増やすために、開始時間がすこしでも早くなるように送迎の経路を考え直しました。支援の質を落とさず効率よく入浴できるように順番を工夫して、一日あたり6.9人が7.6人になりました。毎月、行事やレクリエーションの様子を広報誌でお知らせしています。	A	入浴人数を増やすために、送迎の経路を見直すなど工夫がみられた。その結果、一日当たりの利用者が増えた。	意見なし			
< 課題 >		利用日の都度、毎回入浴を希望されている利用者が多くありますが現状では希望者全員が入浴できていない状況です。また、身体機能の維持や減退防止のために、訓練を希望する利用者や、関係者が多数あります。		機能訓練を実施するため、理学療法士等の配置方法を検討する必要があります。	意見なし			
< 改善内容 >		送迎や入浴順の工夫により入浴者数を増やしていますが、設備の改善が必要です。機能訓練については、以前より要望が強く、早急の実現が必要です。		ニーズの高い入浴支援の拡充に取り組んでいる。	意見なし			
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	B	特に入浴・食事・排泄の支援を重点的に考え事業を実施しました。創作的活動は、作品展で入賞するなど成果はありました。専門職員が配置できていないため機能訓練は未実施です。	A	移転に伴い、サービス提供時間を延長するなど、利用者のニーズに即して、適切に実施されている。	意見なし			
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	土曜開所は、希望される方も多く、平均以上の利用実績もあり続けていく必要があります。また、欠席者には振替利用を案内しています。	A	欠席者には振替利用案内をするなど、利用しやすい環境を整えるなど努めている。	意見なし			
< 課題 >		機能訓練の実施が必要です。休日利用の希望もあり、支給日数や他施設利用の関係、人件費等費用対効果の課題があります。		機能訓練を実施するため、理学療法士等の配置方法を検討する必要があります。	意見なし			
< 改善内容 >		土曜日利用者は、特に他施設利用の場合、支給日数の調整を正確に行う必要があります。		移転に伴い、サービス提供時間の延長を行った。	意見なし			
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	アンケートは、年1回実施し、その結果を翌年度の年間計画に反映しています。給食の試食会を実施し、ご意見を聞きました。	A	年に1度アンケートを行い、翌年度の年間計画に反映するなど、積極的に取り組んでいる。	意見なし			
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケート調査や聞き取りから、多くの方が、利用回数や入浴回数等に満足されており、逆に変化することは望まれていないことがわかりました。サービス提供時間を1時間延長したことや、入浴回数が増えたことも評価をいただいています。	A	アンケートの結果を受けて要望に沿った支援を行うよう、積極的な取り組みを行っている。	意見なし			
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情になる前に、要望の段階で応じられることには取り組み、対応が無理な要望には、理由を丁寧に説明し納得いただきました。	A	適切に行われている。	意見なし			
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	毎朝迎えの際に、家庭の様子や体調などを家族等よりお聞きしたときに、サービスに関するご意見等も伺っています。また、入浴の希望が多いのでできるだけ多くの方が入浴できるように工夫しています。	A	アンケート以外にも、送迎の機会などを捉え、意見を聞くよう心がけている。	意見なし			
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	車いす・ベッド・特浴ストレッチャー等の間の移乗には、できる限りリフトを使用し、利用者の安全と支援員の負担の軽減を優先しました。	A	移転を機に、隣接の給食施設で調理した食事提供に切り替え、利用者から好評を得ている。	意見なし			
< 課題 >		当所の利用者の多くの方が、自分の意志を伝えられなかったり、うまく表現できない状態です。今後、保護者や家族の意見が、利用者本人の思いであるかどうか慎重に判断していく必要があります。		利用者本人のニーズを的確に把握することが必要である。	意見なし			
< 改善内容 >		保護者、家族の要望を受け止めながら利用者本人が、楽しく、快適に過ごせる環境を作っていくように努力します。		食事の提供方法を弁当から隣接施設での調理に変更した。	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費は満寿荘と按分していること、移転して最初の年度であるため、比較する対象がないこと等で一概には評価できませんが、徹底して空調のこまめな調整や電灯のオン・オフ、節水等に努めたため、前年度と比べて大幅な増加は見られませんでした。		A	適切に行われている。		意見なし	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	設備点検や定期清掃などを、隣接する満寿荘と同じ業者に委託することにより、点検や作業を同日に行え、また、合い見積もりをとり安価な業者を選ぶ等、委託料を低く抑えることができました。		A	適切に行われている。		意見なし	
< 課 題 >			施設・設備が老朽化しており継続的な修繕が必要です。			移転に伴い、必要な改修、更新を行っており、適切な維持管理に努める必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >			建物自体が古く、設備が旧式なため、人の手による省エネ(スイッチのこまめなON-OFF等)を、意識的にを行います。定期清掃や設備点検などできるだけ満寿荘と同時に行うことで、経費を節約します。				意見なし	
(2-2) 収入の増加	A			A			(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	A	介護報酬の改定(引き下げ)があったことや、長期入院者の増、複数の施設の併用や平均障害支援区分の軽度化があり、収入の大幅な減は避けられませんでした。その中で支給日数の見直しによる利用日の追加や、振替利用を勧めることで利用者の確保に努めました。		A	介護報酬の改定があったが、利用者の日数の見直しや振替利用を勧めるなど利用者の確保に努めた。		意見なし	
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	B	利用者数は前年度と比べ9人減にとどまりましたが、障害支援区分の軽度の利用者の利用が増え、結果的に収入が大幅に減となりました。		B	報酬改定や利用者の長期入院等により、収入減となった。		意見なし	
< 課 題 >			ひまわり荘利用者の中には、当所を休んで、訪問や病院でのリハビリを受ける方があります。利用者数を増やすには、当所で機能訓練を行う必要があります。			機能訓練を実施するため、理学療法士等の配置方法を検討する必要があります。	意見なし	
< 改善内容 >			機能訓練専門職員による機能訓練を実施する必要があります。				意見なし	
(2-3) 収支のバランスなど	A			A			(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。	B	介護給付費収入において、当初予算に単価の改定や公立減算など誤算がみられました。利用者の支援区分の軽度化も減収につながりました。支出は、サ - ビス提供時間の延長がありましたがほぼ予算書どおりに収まりました。		B	時間外勤務の縮減や経費の節減に努めたものの、移転による光熱水費の増加や報酬改定等により収支は悪化した。		意見なし	
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	事業費、事務費とも物品購入の際は、品質に支障のない範囲で常に低価格のものを必要なだけ発注しました。		A	適切に行われている。		意見なし	
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の状況について確認したところ、適切に予算執行されていると判断します。		A	適切に行われている。		意見なし	
< 課 題 >			収入を増やすためには、利用者数を増やすことが最も重要です。			機能訓練など要望の多いサービスについて実施体制を検討し、利用者数の増加を図る必要がある。	意見なし	
< 改善内容 >			新規利用者の獲得と利用日数の確保を目指します。				意見なし	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	ひまわり荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A			(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	B	職員の配置基準は、加算要件を満たしています。機能訓練専門職員が未配置のため、機能訓練が実施できていません。		B	適切に配置されている。		意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	法令や支援技術に関する研修は積極的に受講し日常業務に生かせるようにしていますが、受講する職員にやや片寄りがみられます。また、利用者に多くみられる「てんかん発作」の研修には毎年参加しています。		A	多くの職員が積極的に研修に参加し、日常業務に生かしている。		意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	両面コピーや節水の励行等、経費は徹底して節約しています。サ・ビスは、特に入浴支援はシステムの改善と職員の「効率は良くするがサ・ビスは低下させない。」という意識付けで向上しています。		A	きめ細やかな支援を行い、サービス向上に努めている。		意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	さくら園、さくらんぼの待機児童を減らし施設を拡充させ、また、ひまわり荘自体も、ワンフロアになり、安全で効率的な、よりよいサ・ビスを提供するために、湯山台に移転し事業を始めました。		A	食事の提供方法変更やサービス提供時間の延長、入浴支援の拡充などに取り組んでいる。		意見なし	
< 課題 >		機能訓練専門職員の配置が必要です。計画的に職員に研修・教育を行う必要があります。			機能訓練を実施するため、理学療法士等の配置方法を検討する必要があります。		意見なし	
< 改善内容 >		職員個別に研修計画を作成します。社協の内部研修を積極的に活用します。					意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	サ・ビス管理責任者が、モニタリング日時を職員全員に周知し実行しています。モニタリングを経て作成し直した個別支援計画書を、管理者が確認し捺印した後、利用者もしくは保護者に確認し捺印いただきます。また、支援センターとも連携して担当者会議に参加しています。		A	適切に行われている。		意見なし	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	鍵のかかる棚に保管し、閉所時施錠して管理しています。		A	適切に行われている。		意見なし	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	入浴支援、排泄支援は2人体制で行っており利用者の安全確保と職員の負担軽減を図っています。		A	適切に行われている。		意見なし	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	避難訓練の年2回実施しています。夜間は警備会社に委託しています。		A	適切に行われている。		意見なし	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	ひまわり荘において「ひまわり荘介護支援マニュアル」があります。事故発生時には必ず報告書を作成し提出しています。また、事故に至らない場合でもヒヤリ・ハット報告書を供覧しています。		A	ヒヤリ・ハット報告書を供覧するなど、全職員に周知を図っている。		意見なし	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。							意見なし	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平かつ適切に実施したか。	A	毎月翌月の利用希望を提出いただき、それをもとに通所予定表を作成しています。		A	利用希望に応じ、適切に行われている。		意見なし	
< 課題 >		利用者の希望をもとに日程調整をしていますが、複数施設利用されている方などは利用日が片寄り、1日当たりの利用者数がばらばらです。			避難訓練について、災害時には単独で避難することができない利用者がほとんどだと考えられるため、実際の避難行動を想定した実効性の高い訓練を実施する必要があります。		意見なし	
< 改善内容 >		複数の施設を利用している方が増えており、施設間での調整や、利用者情報の共有も必要になってきています。					意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	ひまわり荘	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
総合評価			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		
評価ランク	A			A				
・評価できる内容	<p>入浴支援に関して、予算をかけずに送迎レートの工夫で開始時間を早めたり、効率的な入浴順を考えて、入浴できる人数を増やしました。</p> <p>食事の提供では、隣接する満寿荘の委託業者と契約することで、できたての給食を利用者個々のニーズにあった形態で用意することができるようになりました。</p> <p>創作的活動にも積極的に取り組み、複数の作品展で、個人、団体で入賞しました。</p>		<p>きめ細やかな支援や工夫により、利用者のニーズに即した事業運営を行っている。</p>		特になし			
・平成27年度に改善した内容	<p>サ-ビス提供時間を1時間延長しました。</p> <p>昼食に、給食を提供できるようになりました。</p> <p>ワンフロアになりトイレや浴室への移動がスムーズになり、また見守りもしやすくなりました。</p> <p>送迎レ-トの見直しや入浴の順番を効率的に工夫して、1日当たりの入浴の人数を増やしています。</p>		<p>食事の提供方法変更やサービス提供時間の延長、入浴支援の拡充などに取り組んでいる。</p>					
・平成27年度に改善したことによる効果	<p>自宅療養や入所などで利用者が減少する中で、一人当たりの利用回数は、増えています。</p>		<p>温かい食事の提供や入浴利用回数の増加など、サービスの質の向上につながっている。</p>					
・問題があり次年度以降改善が必要な点	<p>重度の利用者が多く、身体機能の維持や減退を防止する、また遅らせるためにも、機能訓練実施の要望が、利用者や関係者から多くありますが実施できていません。</p>		<p>機能訓練を実施するため、理学療法士等の配置方法を検討する必要がある。</p>		特になし			
・改善方法とその時期	<p>早急に機能訓練専門職員を配置し機能訓練を実施する必要があります。</p>		<p>職員配置の見直しにより、次年度から実施されることが望ましい。</p>					

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。